

アーチルニュース ちえなっぴ 第31号

《今号の内容》

(特集記事1)
『ココりすの会』の活動について

(特集記事2)
『ココりすの会』活動レポート

※アーチルは「仙台市発達相談支援センター」の愛称です。子供から大人まで、発達障害のある方の支援を行っています。
※ちえなっぴは「CHIN UP! (前を向いて)」の意味です。

特集記事1 『ココりすの会』の活動について

近年、医療的ケアが必要な方、特にお子さんが増えており、国でもその支援に力を入れて取り組んでいます。アーチルでも、そのような皆さんへの支援体制に関する課題を共有し、関係機関の連携の緊密化を図るため「仙台市医療的ケア児者等地域支援連絡会」を開催しています。

今回のちえなっぴは、その連絡会で委員を務めている佐藤理恵さんが所属している『ココりすの会』を特集します。

○『ココりすの会』って何?

重度重複障がいや医療的ケアが必要な子どもたちが、不安や困っていることを相談しあったり、情報を共有出来る場所であり、一緒に楽しい時間を過ごし、子どもたちの成長を共に喜び合える場所です。

障がい児通園施設なかよし学園の「りす組」で5人の子どもたちが出逢い、このつながりを継続させたいという想いで『ココりすの会』が始まりました。

○どんな活動をしているの?

『ココりすの会』では、月1回の「定例会」と、年2回春と夏に「遊ぼう会」を行っています。

「定例会」では、主に母たちが集まり、沢山のいろいろな話をしています。

「遊ぼう会」は感覚遊びや制作活動、音楽を楽しむ等、どの子もひとつは楽しく遊べるものを考えて、毎回楽しく活動しています。

『ココりすの会』は、医療的ケアのある子どもと家族が多数参加するため、子どもたちと家族のニーズを聞くことができる貴重な機会になっているんだね。

裏面では「夏の遊ぼう会」に参加して、実際の活動内容について、レポートしています。ご覧ください♪♪♪



特集記事2 『ココりすの会』 活動レポート

令和元年8月10日に開かれた、『ココりすの会』の夏の遊ぼう会にお邪魔してきました。当日は天候もよく、全部で13組、およそ30名の方が参加しました。

○当日の流れ

10:00～ 集合

10:30～ 遊ぼう会スタート

自己紹介

①音楽で遊ぼう

(レイnstiック, オーシャンドラム
等手作り楽器による合奏, 歌)

②成人を祝う会

11:50～13:30 昼食・休憩

13:30～ 午後の活動

(パフェ作り, プラバン製作)

15:30～ 終わりのあいさつ, 片付け



一日の流れはゆったりしていて、それぞれの児のペースに合わせて動けるような配慮があり、参加者全員がリラックスできる空間でした★★★



プレバルーンをみんなで広げて、音楽に合わせて遊びました♪♪♪



■今年、成人を迎えたメンバーのうち、会に参加した2名のお祝い会がありました。小さい頃からの映像を観ながら、出席者皆で成長をお祝い出来ました。

■遊ぼう会には毎回、教員、保育士、看護師、福祉施設職員、学生のボランティアさんがお手伝いに来てくださっていて、アーチルでも参加しています。支援者を引き付ける魅力ある会ですので、福祉の仕事を目指す学生は、ぜひ遊びに来てください♪

■代表の佐藤さんは『ココりす便り』の中で、「**医療的ケアが必要な子どもたちとの生活は、吸引や経管栄養、てんかん発作に睡眠障害と目まぐるしく、毎日の体調の変化にハラハラする日々ですが、命を守る為に頑張っています。**『ココりすの会』は不安や困っていることを相談しあい、情報共有できる場所、一緒に楽しい時間を過ごし、子どもたちの成長を共に喜び合える場所です。」とおっしゃっていました☆彡

《編集後記》

医療的ケア児・者や家族の様々な生活を知ることができる貴重な場であり、魅力ある会でした。

参加者の方より、自分が体調を崩した時に子どもを預けることができる場所が少ないとお話がありました。子どもたちが元気であるためには、ご家族がまず健康でなければ十分な介護ができません。本人支援だけでなく、家族支援も重要な課題だと改めて思いました。【S】

《連絡先》

仙台市北部発達相談支援センター（北部アーチル）電話：022-375-0110

仙台市南部発達相談支援センター（南部アーチル）電話：022-247-3801

《ホームページ》 <http://www.city.sendai.jp/kenkou/hattatsu/gaiyou/> もしくは「アーチル」で検索

※この広報紙についてのご意見・お問い合わせは上記の北部アーチルまでお願いします。